

事務事業名	道路清掃事業			担当	建設部 建設課 維持係			
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			電話番号	0285-83-8148		
施策名	4	道路ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	道路法				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和29 年度～）			
予算科目	1. 一般会計	8. 土木費	2道路橋りょう		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	・道路法に規定に基づき、道路管理者として、清掃や除草など道路の機能を維持するために実施する事業である。 ・地域からの要請等により道路及び側溝等の清掃を実施したり、歩道付きの幹線市道において、路面清掃車による清掃を定期的に行っている。 また、河川占用（特に河川堤防上を道路として利用）条件として、占用部の両側約1mの草刈を実施している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 28年度実績 ・道路及び側溝の清掃 ・幹線市道の清掃 ・河川堤防上を道路として占用している箇所の除草 29年度計画 28年度と同じ	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込) ア 側溝の清掃箇所 箇所 4 2 6 11 10 イ 幹線市道の清掃回数 回 4 4 4 4 4 ウ 河川占用箇所の除草 回 3 3 3 3 3 エ オ
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 道路	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込) ア 市道認定延長（実延長） km 1,279 1,281 1,287 1,286 1,286 イ 河川占用許可を受けている道路延長 km 49.3 49.3 49.3 49.3 49.3 ウ エ オ
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 道路を良好な状態に維持する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込) ア 道路側溝の清掃延長 m 893 499 364 996 400 イ 幹線市道の清掃延長 km 86.3 86.3 86.3 88.3 89.0 ウ 占用箇所の除草面積 m ² 234,000 234,000 234,000 234,000 236,460 エ オ
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 快適な道路環境を維持する。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込) ア きれいな街と感じている市民の割合 % 74.9 76.7 79.6 75.9 76.8 イ ウ エ オ

(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	26,461	27,369	29,957	31,176	31,219
		事業費計(A)	千円	26,461	27,369	29,957	31,176	31,219
	人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	408	500	500	500	500
		人件費計(B)	千円	1,658	2,111	2,095	2,077	2,077
		トータルコスト(A)+(B)	千円	28,119	29,480	32,052	33,253	33,296

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	道路管理者は、法により、道路の機能を維持する責務がある。 幹線市道については、路面の雨水排水に支障がないよう、街路樹の落葉や堆積土砂を除去している。 河川を占用している市道等については、占用許可条件に基づき、除草を実施している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	道路の管理延長が増加している。 街路樹の成長により、落葉の清掃が間に合わない箇所がでてきている。 平成29年度からフラワーベルト事業のうち、五行川の河川堤防上を道路として占用している箇所の除草を実施している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	側溝清掃の要望が多い。 また、側溝清掃は地元ではできない旨の意見が多い。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 道路の清掃は、暮らしやすさが実感できるまちづくりを目指す市の政策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市道の適切な維持は、道路管理者の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 道路の範囲に限定されている。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 必要最小限で実施している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 利用者の生活に支障が出る。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 通行者が安全で快適な利用をするため不可欠である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 委託可能なものは実施済である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 道路施設は、不特定多数の人が利用する施設であり、公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							